



MKグループ

交通・運輸業 1960年に京都でわずか10台のタクシーから始まった同社は、現在全国9都市で2000台規模のタクシー・ハイヤー・バス・サービスステーションなど様々な事業を展開している。

2025年に保有車両の30%をZEVとし、2030年までに全車ZEV化の達成を目指すことを全国のタクシー会社の中で初めて表明するなど、SDGsの活動にも積極的に取り組んでいる。



MKグループ

事業者概要（2024年10月現在）

事業会社所在地 京都、滋賀、名古屋、札幌、東京、大阪、神戸、福岡、沖縄

グループ従業員数 5,230名

主な事業内容 タクシー、ハイヤー、整備、アミューズメント、レンタカー

URL <https://www.mk-group.co.jp/>

取組の背景

- 国の2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言にあたり、自分たちにできる取組みとして効果が大きいと考えられるタクシー・ハイヤーの全車ZEV化を進めることを決定した。
- 特に京都のエムケイ株式会社では、「2050京（きょう）からCO2ゼロ条例」に賛同し、社業を通じてCO2削減に取り組んでいる。

#ZEV化 #水素ステーション #地域脱炭素モデル
#カーボンオフセット

取組の内容

【京都MK】

2030年までに全車ZEV化

- 2021年9月に自社運営のLPガススタンドを営業終了、2022年2月にLPガスのタクシー専用車の使用終了し、現在の保有車両はEV、HV、PHV、低燃費ガソリン車となっている。
- ZEVは182台（22%）登録されている。（2024年3月末時点）
- 180kw級の超急速充電器を中心に本社や各営業所に19基設置。

- ➡ ◆ 2025年に保有車両の30%をZEV、2030年までに全車ZEV化の達成を目指す。（全国のタクシー会社として初めて2021年に表明。）



京都で運用中のIONIQ5

【神戸MK】

水素ステーション、水素自動車

- 2023年5月10日より、本社に隣接するエリアで日本エア・リキード合同会社の運営による燃料電池車（FCV）用の水素ステーションを開設。
- 水素ステーション開設に伴いトヨタのFCV「ミライ」を2台導入。



- ◆ 関西の法人タクシーでは初のFCV
◆ 2030年までに現在のハイブリッド車をEVやFCVに順次置き換えていく予定。



神戸で運用中の水素車両ミライと水素ステーション

【京都MK】

地域脱炭素モデルの創出に貢献

- 「京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」「京都スマート電力システム構築協議会」に参画。
- EV化やサステナブルツーリズム、EV修学旅行などを実施。京都ならではの地域脱炭素モデルの創出に貢献している。

▶EV修学旅行（2023年度～）

電気自動車のタクシーを使い、SDGs学習の要素を取り入れた修学旅行。年間約1000校の修学旅行に協力している。

▶カーボンニュートラルオプション

EV観光の際、充電時に発生するCO2をカーボンオフセットし、実質CO2排出ゼロにするサービス

サステナブルな旅行と移動の新提案



カーボンニュートラルオプション

EVタクシーの走行距離分の充電で発生するCO2をオフセット

京都グループで推進するカーボンニュートラル